

I. 2024年度事業報告（2024年3月1日から2025年2月28日まで）

【公益目的事業】

(1) 会誌「化学と生物」、論文誌等の刊行を通じて農芸化学の普及啓発を行う事業

1) 学会誌「化学と生物」の発行状況

会誌送付の状況（括弧内は紙媒体による送付数） (2025年2月末現在)

	化学と生物 (第63巻、第2号)		Biosci. Biotechnol. Biochem (第89巻、第2号)	
	国内	国外	国内	国外
名 誉 会 員	15 (5)	0 (0)	15 (5)	0 (0)
有 功 会 員	200 (50)	0 (0)	200 (5)	0 (0)
シ ニ ア 会 員	181 (19)	0 (0)	181 (3)	0 (0)
一 般 会 員	5126 (100)	9 (0)	5126 (90)	9 (0)
教 育 会 員	82 (79)	0 (0)	82 (2)	0 (0)
学 生 会 員	2143 (9)	2 (0)	2143 (4)	2 (0)
ジ ュ ニ ア 会 員	11 (2)	0 (0)	11 (0)	0 (0)
国 外 会 員	0 (0)	25 (1)	0 (0)	25 (1)
贊 助 会 員	88 (87)	0 (0)	88 (85)	0 (0)
団 体 会 員	220 (218)	0 (0)	220 (216)	0 (0)
寄 贈・交 換	0 (16)	0 (7)	0 (4)	0 (7)
追 加 送 本 ^{*1}	0 (8)	0 (0)	0 (4)	0 (0)
販 売 ^{*2}	0 (480)	0 (0)	79 (0)	2094 (0)
広 告 用	0 (20)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
事務局保存用	0 (15)	0 (0)	0 (7)	0 (0)
計	8066 (1108)	36 (8)	8145 (425)	2130 (8)
総 計		8102 (1116)		10275 (433)
紙媒体印刷部数		(1200)		(435)
紙 媒 体 残 部		(84)		(2)

※ オンライン版会誌送付数は2024年度以降の会費納入済の会員数

※1 賛助・団体会員に追加で送本しているもの（有料）

※2 和文誌を刊行している国際文献社、英文誌を刊行している Oxford University Press が販売しているもの

Oxford University Press の販売データは2024年12月末時点のもの

「化学と生物」掲載頁数（下段は編数）

	第 58 卷 (2020 年)	第 59 卷 (2021 年)	第 60 卷 (2022 年)	第 61 卷 (2023 年)	第 62 卷 (2024 年)
解説	353 47	342 44	297 40	356 45	368 48
セミナー室	138 19	83 10	129 16	68 9	17 3
今日の話題	94 34	64 21	106 35	103 32	129 45
バイオサイエンスコープ	12 2	6 1	19 3	5 1	19 4
生物コーナー・化学の窓	0 0	5 1	13 2	11 2	0 0
トップランナーに聞く	0 0	8 1	0 0	5 1	0 0
海外だより・学界の動き	21 4	4 1	5 1	7 1	11 2
プロダクトイノベーション・ テクノロジーイノベーション	40 7	44 7	40 7	18 3	9 2
農芸化学 @High School	21 5	29 7	25 6	21 6	22 5
特別寄稿		19 2			
その他	25	32	32	30	37
印刷頁数（冊子体）	704	636	666	624	612

「化学と生物」執筆者へ化学と生物（冊子）とクリアファイルを配布している。

2) 学会誌「Bioscience, Biotechnology, and Biochemistry」の発行状況

英文誌投稿状況・掲載状況

月	前年末	2024年												2025年			
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計	1	2	計
手持数	67	82	81	91	84	88	85	82	78	102	108	107	99	96	94		
受理数		72	59	75	61	58	52	56	53	69	56	45	36	692	55	39	94
掲載数		14	14	14	14	15	16	17	17	15	17	13	16	182	22	22	44
返却数		43	46	51	54	39	39	42	40	30	33	33	28	478	36	19	55
issue		88-02	88-03	88-04	88-05	88-06	88-07	88-08	88-09	88-10	88-11	88-12	89-01		89-02	89-03	

英文誌掲載の状況

	受理報文数		掲載報文数		返却報文数		年末手持 報文数	印刷頁数 (投稿論文)	印刷部数	IF
		うち 海外		うち 海外		うち 海外				
2020 年	1119	835	297	101	813	731	180	2608 (Vol.84)	650 (Vol.84, No.12)	2.043
2021 年	858	613	289	77	679	599	70	2475 (Vol.85)	500 (Vol.85, No.12)	2.337
2022 年	693	433	204	31	497	408	62	1725 (Vol.86)	480 (Vol.86, No.12)	1.6
2023 年	627	396	176	24	446	366	67	1558 (Vol.87)	465 (Vol.87, No.12)	1.4
2024 年	692	421	182	26	478	397	99	1499 (Vol.88)	435 (Vol.88, No.12)	
増減	65	25	6	2	32	31	32	- 59	- 30	

*増減は 2023 年と 2024 年の比較

3) 2024年度大会プログラム集は 2024年2月25日に PDF 版を発行した.

4) 2024年度大会講演要旨集は 2024年3月5日に PDF 版を発行した.

(2) 学術大会、講演会等の開催を通じて農芸化学の普及啓発を行う事業

1) 創立100周年記念特別企画の開催

2024年度に創立100周年を迎えるにあたり、2024年3月23日に東京大学駒場キャンパス900番教室（東京都目黒区駒場3-8-1）において創立100周年記念式典が、京王プラザホテル新宿本館5階コンコードボールルーム（東京都新宿区西新宿2-2-1）において創立100周年記念祝賀会が開催され、記念式典には約360名が、記念祝賀会には約325名が出席した。記念式典の記念品として扇子2種（式次第）、記念祝賀会の記念品として記念ボトル（創立100周年記念ラベル）を作成し、配布した。

2024年度大会期間中には、東京農業大学世田谷キャンパス（東京都世田谷区桜丘1-1-1）において、3月24日にシンポジウム「これまでの農芸化学研究の100年を振り返って」、3月25日から27日の3日間教育講演、3月27日にパネルディスカッション形式で「これから100年の農芸化学研究を展望する」が開催された。また、3月26日には東京農業大学世田谷キャンパス国際センター2階（東京都世田谷区桜丘1-1-1）において「農芸化学を体感する」が開催された。

2024年3月20日から9月8日までの間、東京大学駒場キャンパス駒場博物館（東京都目黒区駒場3-8-1）において創立100周年記念展が開催され、5,274名が来場した。

2) 2024年度学会賞等受賞者講演の開催

2024年度の日本農芸化学会賞・日本農芸化学会功績賞・農芸化学技術賞・農芸化学奨励賞の受賞者講演は2024年3月24日に東京農業大学世田谷キャンパス百周年記念講堂（東京都世田谷区桜丘1-1-1）において、農芸化学女性研究者賞・農芸化学若手女性研究者賞および農芸化学女性企業研究者賞の受賞者講演は2024年3月26日に東京農業大学世田谷キャンパスA1会場（東京都世田谷区桜丘1-1-1）において開催された。

3) 2024年度本部主催講演の開催

2024年3月24日に東京農業大学世田谷キャンパス百周年記念講堂（東京都世田谷区桜丘1-1-1）において、本部主催の文化勲章受章者・本会名誉会員である別府輝彦先生追悼講演が開催された。

4) 2024年度大会の開催

2024年度大会は2024年3月24日から27日までの4日間東京農業大学世田谷キャンパスにおいて以下の内容で開催され、大会参加者数は4,183名であった。

- ・口頭発表による一般講演（1,493題）
- ・シンポジウム（25テーマ・143題）の発表と討論
- ・ランチョンセミナー（11社・17題）
- ・ジュニア農芸化学会（78題）
- ・産学官学術交流フォーラム（12題）

2024年3月24日から25日の2日間、懇親・交流の場として東京農業大学世田谷キャンパス百周年記念講堂前広

場・カフェテリアグリーン・レストランすずしろ（東京都世田谷区桜丘1-1-1）において特別企画「Social gathering」が開催された。

2024年度大会におけるトピックス賞として下記30題を表彰した。

- 2C1p04 浪川勇人 東京大学大学院農学生命科学研究科
「CO₂固定技術の開発に貢献するバイオミネラル粉末の機能解析」
- 3C1p07 中島英理夏 農業・食品産業技術総合研究機構
「月面での食料生産を想定した無機肥料製造法の検討」
- 2C2p07 高谷佑生 京都大学農学部
「ハネカクシから初めて同定された(7R)-actinidineの生合成経路と生理活性」
- 2E3p05 根岸天都 静岡県立大学薬学部
「抗腫瘍性抗生物質fumagillin生合成遺伝子のウイルス発現系による新規抗がん遺伝子治療法の確立」
- 3C2p14 丸岡 毅 京都大学大学院農学研究科
「LC/MS/MS分析および主成分分析による虫糞茶と市販茶の比較」
- 2B5a10 星川陽次郎 東京大学大学院農学生命科学研究科
「分裂酵母*Schizosaccharomyces pombe*においてペンタデカノン酸が誘導する脂防毒性」
- 2C4p09 奥村太知 東北大学大学院理学研究科
「ジャスモン酸イソロイシンラクトンによる植物アルカロイド生産活性化」
- 4D5a04 元内 省 東京理科大学創域理工学部
「 α 1,6-Cyclized β -1,2-glucohexadecaose合成酵素の発見：*Xanthomonas*属に汎用な新農薬ターゲット」
- 2E7a10 河野 敦 昭和産業株式会社
「澱粉から得られる短直鎖糖質の諸性質と食品への応用」
- 3E7a06 柏木貴裕 高砂香料工業株式会社
「TRPA1/TRPV1アゴニストによる炭酸感の増強」
- 4E7a03 高田こはる 静岡県立大学大学院薬食生命科学総合学府
「ヒト嗅覚受容体応答を指標とした畜肉の判別解析」
- 2B2a13 飯嶋益巳 東京農業大学応用生物科学部
「イムノステイック法を用いた食物アレルゲンの簡便・高感度検出技術の開発」
- 3B1p08 松本 凌 味の素株式会社
「経皮電気刺激によって食品の味を調節する新しい呈味調節技術の検証」
- 3C6a10 戸田安香 明治大学農学部農芸化学科
「脊椎動物における旨味・甘味受容体T1Rの進化多様性の解明」
- 2C7a02 新山 海 広島大学大学院統合生命科学研究科
「難培養微生物の可培養化と有用機能の同時探索を可能にする革新的スクリーニング手法の開発」
- 2C7a07 関口勇地 産業技術総合研究所
「ゲノム情報から予測した大規模タンパク質量情報と質

- 量分析による広範囲な原核微生物の迅速同定」
 4E6a10 土井かおる 京都大学大学院生命科学研究科
 「嫌気性腸内細菌と腸管上皮細胞の共培養システムの開発」
 3E6p03 千葉洋子 理化学研究所環境資源科学研究センター
 「新規CO資化性微生物の探索—好熱性水素細菌 *Hydrogenobacter thermophilus* のCO耐性および資化性の検証」
 4E2a14 永野有佳理 北海道大学大学院農学研究院
 「他の腸内細菌存在下における大腸菌の薬剤耐性進化実験」
 3C5p11 柳原愛梨 福島大学大学院食農科学研究科
 「*Tetragenococcus halophilus* SL10株の凝集因子の同定」
 2E1a06 吉留大輔 東京大学大学院農学生命科学研究科
 「窒素固定細菌を用いた大気中窒素を由来とするL-グルタミン酸発酵法の改良」
 3E1a09 日尾 守 京都大学大学院農学研究科
 「レーズンと水からワインができる仕組み」
 2D6a12 高橋明日香 東京大学大学院農学生命科学研究科
 「条件づけ味覚嗜好学習によって苦味溶液に対する嗜好性の人為的向上」
 3D6a06 伊原さよ子 東京大学大学院農学生命科学研究科
 「酢酸イソアミルの香り知覚に寄与するヒト嗅覚受容体の同定」
 2D3a03 野村泰治 富山県立大学工学部
 「植物培養細胞におけるエピゲノム改変を介した新たな休眠二次代謝覚醒法と新規クロロゲン酸類生合成酵素の発見」
 4D6a11 福山雄大 東京大学大学院農学生命科学研究科
 「前頭前野における新規食物摂食経験を記憶するエンゲラムニューロンの発見」
 3D4a03 手塚大介 農業・食品産業技術総合研究機構
 「*in planta* Particle Bombardment法によるソバのゲノム編集系の開発」
 3D7p06 廖 増威 東京大学農学生命科学研究科
 「AAA + ATPase複合体による化学合成独立栄養性細菌のRubisco再活性化の構造基盤」
 2E4p04 平尾理恵 株式会社豊田中央研究所
 「抗ウイルス性能を付与したポリプロピレン表面コーティング」
 2E4a04 馬橋英章 bitBiome 株式会社
 「新規PET分解酵素の同定と表面特微量解析を用いた酵素改変」
 5) ジュニア農芸化学会（高校生による研究発表会）の開催
 ジュニア農芸化学会（高校生による研究発表会）は2024年度大会期間中の2024年3月26日に東京農業大学世田谷キャンパスにおいてポスターにて発表された。（78題・78校）
 6) 農芸化学Frontiersシンポジウムの開催
 農芸化学Frontiersシンポジウムは2024年度大会中の2024年3月27日～3月28日にクロス・ウェーブ府中において開催された。（参加者94名）

- 7) 第51回農芸化学「化学と生物」シンポジウムの開催
 農芸化学「化学と生物」シンポジウムはVisionary農芸化学100シンポジウムがその趣旨を引き継ぐことになり、第51回農芸化学「化学と生物」シンポジウムと並記し「次の100年につなぐ農芸化学研究の最前線」というタイトルで、2024年7月20日に対面とオンライン（Zoomウェビナー）によるハイブリッド形式にて開催された。（現地参加者37名、聴講者数130名）
 8) 分野融合連携シンポジウムの開催
 分野融合連携シンポジウムは2024年3月25日にThe Korean Society for Microbiology and Biotechnologyとの合同企画が「Microbiology and Biotechnology Researches in Japan and Korea」というタイトルで、2024年3月26日に日本蛋白質科学会/AMED-BINDSとの合同企画が「先端技術支援で加速するタンパク質科学研究」というタイトルで、東京農業大学世田谷キャンパスにおいて開催された。
 9) サイエンスカフェの開催
 *¹日本学術会議農芸化学分科会と共に、*²北海道大学大学院水産科学研究院／北海道大学大学院農学研究院と共に、*³鹿児島大学アカデミーロータリークラブ／国際ソロプチミストオンライン鹿児島と共に、*⁴国立大学法人東海国立大学機構岐阜大学／岐阜大学男女共同参画推進室と共に
 1 [第154回]^{*1}（八戸）2024年6月15日「「発酵」をキーワードにした縄文遺跡の新たな魅力探求」（coworking cafe estacion（エスタシオン））講師：山本 歩氏、コーディネーター：前多隼人氏 参加者：35名（会場22名、オンライン13名）
 2 [第155回]^{*2}（函館）2024年9月8日「ますます楽しみな麹菌の世界」（佳さく）講師：川端慎治氏、玖村朗人氏、コーディネーター：趙 佳賢氏、石塚 敏氏 参加者：14名
 3 [第156回]^{*1}（徳島）2024年11月24日「徳島発のバイオテクノロジー：阿波晩茶とコオロギの魅力」（徳島大学フューチャーセンター）講師：西岡浩貴氏、渡邊崇人氏、コーディネーター：川上竜巳氏 参加者：29名
 4 [第157回]^{*3}（鹿児島）2024年12月21日「今、この瞬間、何が起こっているのか！？～ミクロなRNAで読み解くマクロな世界～」（鹿児島大学理学部1号館103講義室）講師：飯笛さやか氏、コーディネーター：加治屋勝子氏 参加者：31名
 5 [第158回]^{*4}（岐阜）2025年2月22日「加工野菜・果物の構造と美味しさの関係」（みんなの森ぎふメディアコスモス1階おどるスタジオ）講師：今泉鉄平氏、コーディネーター：中川香澄氏 参加者：32名
 10) 産学官学術交流フォーラムの開催
 産学官学術交流フォーラムは、2024年3月25日に東京農業大学横井講堂にて開催された。
 ・第1部 農芸化学産学官連携の「過去」を振り返る

- ・第2部 農芸化学産学官連携の「現在」を知る
 - ・第3部 農芸化学が拓く「未来」を語る
- 11) 産学官若手交流会（さんわか）セミナーの開催
産学官若手交流会（さんわか）セミナーは以下の通り3回開催した。
- 1 さんわか×北大ミニセミナー「産官学の現場から語る研究者のリアル」(2024年7月4日, 北海道大学農学部本館N31教室, 参加者数約60名)
 - 2 [第42回]「研究者の多様なキャリア」(2024年9月2日, Zoomウェビナー配信, 聴講者数90名)
 - 3 [第43回]「AI・センシング技術が拓く世界」(2024年11月11日, 東京大学大学院農学生命科学研究科・農学部弥生講堂アネックスセイホクギャラリー, 参加者数約20名)
- 12) 各支部の講演会等の開催
北海道支部（2件）
- ・2024年度 日本農芸化学会北海道支部 第1回学術講演会（とかちプラザ, 7月13日）
 - ・2024年度 日本農芸化学会北海道支部 第2回学術講演会（北海道大学農学部, 11月30日～12月1日）
- 東北支部（6件）
- ・東北支部参与会（Web開催, 6月11日, 参加者数39名）
 - ・東北支部シンポジウム「脳と肥満」（弘前大学文京町キャンパス, 7月27日, 参加者数55名）
 - ・東北支部若手の会（YUMORI ONSEN HOSTEL（福島）, 9月27日～28日, 参加者数57名）
 - ・東北支部第159回大会（福島大学, 9月28日, 参加者数116名）
 - ・東北支部参与会（福島大学, 9月28日, 参加者数29名）
 - ・第一回 NanoTerasu 食・農測定会（東北大学青葉山新キャンパス NanoTerasu, 12月9日, 参加者数27名）
- 関東支部（4件）
- ・バイオサイエンス・スクール 2024（日本大学生物資源科学部, 8月6日）
 - ・2024年度支部大会（東京大学弥生講堂, 8月30日）
 - ・2024年度支部例会（お茶の水女子大学, 11月2日）
 - ・2024年度企業イベント（Web開催, 11月30日）
- 中部支部（3件）
- 以下全ての例会を日本農芸化学会創立100周年および中部支部創立70周年記念例会として開催
- ・第198回支部例会（6月7-8日）「企業で活躍する中部支部のロールモデル（オンライン開催）」と受賞講演, ミニシンポジウム「微生物・酵素・食品」に関するミニシンポジウム（対面開催）」
 - ・第199回支部例会（9月27-28日）受賞講演, 支部創立70周年記念シンポジウム, 農芸化学中小企業産学・産官連携研究助成報告, 一般ポスター発表, 企業展, 支部功労者表彰式
 - ・第200回 支部例会（12月16-17日）(2024 Sakura-Bio

- Meeting in OKINAWA として日本生物工学会中部支部・九州支部との合同開催) 受賞講演, シンポジウム, 一般口頭・ポスター発表
- 関西支部（8件）
- ・支部例会（第530回講演会）（京都府立大学, 5月31日）
 - ・支部例会（第531回講演会）（大阪公立大学, 7月12日）
 - ・農芸化学会創立100周年・関西支部創立90周年記念支部大会（第532回講演会）（京都先端科学大学, 9月28日～29日）
 - ・JSBBA KANSAI 11th Student Forum（神戸大学, 10月27日）
 - ・賛助企業-学生交流企画「第10回もっと知ろう賛助企業」（神戸大学, 12月6日）
 - ・支部例会（第533回講演会）（神戸大学, 12月6日）
 - ・第9回産学官連携シンポジウム（住友化学株式会社, 2月3日）
 - ・支部例会（第534回講演会）（京都大学, 2月8日）
- 中四国支部（6件）
- ・学会創立100周年記念第68回講演会（例会）（香川大学, 6月1日）
 - ・学会創立100周年記念2024年度中四国支部大会（第69回講演会）（愛媛大学, 9月19日～20日）
 - ・学会創立100周年記念第70回講演会（例会）（広島大学, 1月25日）
 - ・学会創立100周年記念第39回若手研究者シンポジウム（香川大学, 6月2日）
 - ・学会創立100周年記念第40回若手研究者シンポジウム（島根大学, 12月11日）
 - ・学会創立100周年記念第47回市民フォーラム（徳島大学, 11月9日）
- 西日本支部（5件）
- ・令和6年度日本農芸化学会西日本支部例会（第350回講演会）（キリンビール福岡工場, 6月10日）
 - ・第61回化学関連支部合同九州大会（第351回講演会）（北九州国際会議場, 6月29日）
 - ・2024年度西日本支部大会（第352回講演会）（佐賀大学本庄キャンパス農学部, 9月19日～20日）
 - ・第7回学生フォーラム（第353回講演会）（Web開催, 11月23日）
 - ・令和6年度日本農芸化学会西日本支部例会（第354回講演会）（九州大学西新プラザ, 2月2日）
- (3) 表彰を通じて農芸化学の普及啓発・発展を目的とする事業**
- 1) 2024年度日本農芸化学会賞, 日本農芸化学会功績賞, 農芸化学技術賞, 農芸化学奨励賞, 農芸化学女性研究者賞, 農芸化学若手女性研究者賞, 農芸化学女性企業研究者賞を下記のとおり表彰した.

【日本農芸化学会賞】(2件, 50音順)	【農芸化学女性研究者賞】(2件, 50音順)
内田浩二 (東京大学大学院農学生命科学研究科) 「食と健康に関連した生命現象の化学反応」	小林彰子 (東京大学大学院農学生命科学研究科) 「ポリフェノールの体内動態と機能性研究」
田中 寛 (東京工業大学科学技術創成研究院) 「微生物における細胞制御の統合的理 解」	山田美和 (岩手大学農学部) 「生分解性プラスチックの微生物による合成と分解に関する研究」
【日本農芸化学会功績賞】(2件, 50音順)	【農芸化学若手女性研究者賞】(2件, 50音順)
長岡 利 (岐阜大学応用生物科学部) 「脂質代謝制御に関する食品機能学的研究」	奥田 紗 (京都大学複合原子力科学研究所) 「小胞体における酸化的フォールディング酵素の機能・構造相関解析」
堀内裕之 (東京大学大学院農学生命科学研究科) 「糸状菌の菌糸極性生長・形態分化に関わる機能分子の細胞遺伝学」	DAMNJANOVIC Jasmina (名古屋大学大学院生命農学研究科) 「産業用酵素群の実用化を指向した酵素科学・工学的研究」
【農芸化学技術賞】(2件, 50音順)	【農芸化学女性企業研究者賞】(1件)
サッポロビール株式会社 「酵母の醸造特性・物質変換に着目したビールテイスト飲料の品質向上と商品開発」	柳樂明佳 (株式会社明治研究本部乳酸菌研究所) 「乳タンパク質の健康機能に関する研究」
ハウス食品グループ本社株式会社 「PCRによる食物アレルゲン検査法の開発、公定法化、市販キット化」	2) 第21回農芸化学研究企画賞を下記のとおり表彰した。 岡野憲司 (関西大学化学生命工学部) 「減算的菌叢改変技術を活用した次世代プロバイオティクスシード微生物の発掘」
【農芸化学奨励賞】(10件, 50音順)	中川 優 (名古屋大学糖鎖生命コア研究所) 「糖鎖を標的とした新興感染症治療薬リードの開発」
大橋一登 (群馬大学生体調節研究所) 「ミトコンドリアにおける NADP (H) 供給とその調節に関する分子生化学的研究」	3) 2023年 BBB論文賞 (10件) を下記のとおり表彰した. pp. 90~98 Arata Banno, Mako Yamamoto, Maihemuti Mijiti, Asahi Takeuchi, Yuyang Ye, Natsuki Oda, Nanami Nishino, Akio Ebihara, Satoshi Nagaoka The physiological blood concentration of phenylalanine-proline can ameliorate cholesterol metabolism in HepG2 cells
加藤晃代 (名古屋大学大学院生命農学研究科) 「微生物の産業利用および異種タンパク質生産の効率化に関する研究」	pp. 119~128 Atsushi Kurata, Shino Yamasaki-Yashiki, Tomoya Imai, Ayano Miyazaki, Keito Watanabe, Koichi Uegaki Enhancement of IgA production by membrane vesicles derived from <i>Bifidobacterium longum</i> subsp. <i>infantis</i>
北岡直樹 (北海道大学大学院農学研究院) 「植物の防御応答に関わる天然有機化合物の生合成機構と生理作用の解明」	pp. 179~190 Ruriko Miyazaki, Shunji Kato, Yurika Otoki, Halida Rahmania, Masayoshi Sakaino, Shigeo Takeuchi, Toshiro Sato, Jun Imag, Kiyotaka Nakagawa Elucidation of decomposition pathways of linoleic acid hydroperoxide isomers by GC-MS and LC-MS/MS
吳 静 (静岡大学農学部) 「高等菌類由来の生物活性物質に関する化学的研究」	pp. 389~394 Kuniki Kino, Takuma Komabayashi, Ayaka Hashida, Ayumu Kuramoto Improving the enzymatic activity of L-amino acid α -ligase for imidazole dipeptide production by site-directed mutagenesis
高橋春弥 (京都大学大学院農学研究科) 「健康機能評価に寄与する質量分析データの応用展開」	pp. 501~510 Saaya Sekine, Shohei Takase, Runa
藤井達也 (産業技術総合研究所機能化学研究部門) 「糸状菌 <i>Talaromyces cellulolyticus</i> による植物バイオマス糖化技術の研究」	
三谷墨一 (信州大学農学部) 「食品成分の標的タンパク質の同定とそれに基づく機能性発現メカニズムに関する研究」	
宮崎 駿 (東京農工大学グローバルイノベーション研究院) 「植物における新たな生活環制御に関わるテルペノイドの生合成研究」	
宗正晋太郎 (岡山大学学術研究院環境生命自然科学学域) 「気孔の開閉運動を制御するイオンチャネル活性制御機構の解明」	
村井勇太 (北海道大学大学院農学研究院) 「化学的アプローチによるスフィンゴ脂質関連分子の新しい生理機能の解明」	

		Hayase, Kota Noritsugu, Yuki Mae-moto, Yasue Ichikawa, Kenji Ogawa, Yasumitsu Kondoh, Hiroyuki Osada, Minoru Yoshida, Akihiro Ito Identification of a derivative of the alkaloid emetine as an inhibitor of the YAP-TEAD interaction and its potential as an anticancer agent	rhizospheres: roles, dynamics, and the potential for agriculture
pp. 638～645		Izza Nur Laily, Michiki Takeuchi, Taku Mizutani, Jun Ogawa An ACE2, SARS-CoV-2 spike protein binding protein, -like enzyme isolated from food-related microorganisms	6) 2024年企業研究者活動表彰受賞者を下記のとおり表彰した(4名). 脇中琢良(ヤマサ醤油株式会社) 小堀一(株式会社岩出菌学研究所) 岩田奈津紀(株式会社島津製作所) 木原誠(サッポロビール株式会社)
pp. 747～757		Huei-Fen Jheng, Miho Takase, Satoko Kawarasaki, Zheng Ni, Shinsuke Mohri, Kanako Hayashi, Atsushi Izumi, Kuni Sasaki, Yu Shinyama, Jungin Kwon, Su-Ping Ng, Haruya Takahashi, Wataru Nomura, Rina Yu, Koji Ochiai, Kazuo Inoue, Teruo Kawada, Tsuyoshi Goto 8-Prenyl daidzein and 8-prenyl genistein from germinated soybean modulate inflammatory response in activated macrophages	7) 2024年度、支部における各賞を下記のとおり表彰した. 【日本農芸化学会北海道支部学生会員奨励賞】2件 Napaporn Chintagavongse(北海道大学大学院農学院) 「Studies to reduce rancidity in ripened cheese caused by koji adjunct from <i>Aspergillus oryzae</i> 」 井上史朗(北海道大学大学院農学院) 「OPDA異性化経路に関する研究」 【2024年度 日本農芸化学会北海道支部 第1回学術講演会学生優秀発表賞】2件 Napaporn Chintagavongse(Graduate School of Agriculture, Hokkaido University) 「Studies to reduce rancidity in ripened cheese caused by koji adjunct from <i>Aspergillus oryzae</i> AHU 7139」 Masanori Uchiyama(Graduate School of Agriculture, Hokkaido University) 「Structural analysis of galactose 2-epimerase complexed with D-galactitol」
pp. 1068～1076		Yoshimi Kobayashi, Tai-Ying Chiou, Masaaki Konishi Artificial intelligence-assisted analysis reveals amino acid effects and interactions on <i>Limosilactobacillus fermentum</i> growth	【2024年度 日本農芸化学会北海道支部 第2回学術講演会学生優秀発表賞】4件 丹愛佳(北海道大学大学院農学院) 「光親和性標識プローブへ展開可能なジャスモン酸類縁体の合成とバレイショ塊茎形成誘導活性の評価」 中川直也(北海道大学大学院総合化学院) 「好気条件下でのD型ポリ乳酸(PDLA)セグメント含有ポリヒドロキシアルカン酸(PHA)ブロック共重合体のde novo合成」 大島翔汰(北海道大学大学院農学院) 「苦味受容体Tas2r108はcAMPの調節を介して脂肪細胞の分化を制御する」 足立悠輔(北海道大学大学院農学院) 「カシス、アカジソ、ミオイノシトールが雌性マウスの性ホルモン分泌に与える影響の検証」
pp. 1285～1294		Yuko Watanabe, Eri Katsumura, Tatsuki Domon, Yuta Ishikawa, Rina Oguri, Minami Takashima, Qi Meng, Masato Kinoshita, Hisashi Hashimoto, Kiyotaka Hitomi Establishment of transgenic epithelium-specific Cre-recombinase driving medaka (<i>Oryzias latipes</i>) by homology repair mediated knock-in	【2024年度日本農芸化学会東北支部奨励賞】2件 加藤俊治(東北大大学院農学研究科) 「酸化脂質の精密構造解析による脂質酸化経路の解明」 辻井雅(東北大大学院工学研究科) 「光合成と呼吸を支えるイオン輸送体の解明」
pp. 1407～1419		Chihiro Watanabe, Eri Oyanagi, Takafumi Aoki, Hiroki Hamada, Masato Kawashima, Takashi Yamagata, Michel J Kremenik, Hiromi Yano Antidepressant properties of voluntary exercise mediated by gut microbiota	【2024年度日本農芸化学会東北支部若手奨励賞】2件 楠本惟吹(東北大大学院農学研究科) 「食品および生体における脂質酸化のメカニズムとその制御に関する分析評価」
4)	Most-Cited Paper Award の表彰はなかった。		
5)	Most-Cited Review Award を下記のとおり表彰した(1件、被引用回数19回).		
Vol.85, No.9, pp. 1919～1931	Akifumi Sugiyama Flavonoids and saponins in plant		

- 齋藤祐介（岩手大学大学院連合農学研究科）
「海洋環境におけるポリアミド4 (PA4) 分解細菌の探索
と PA4分解酵素の諸性質解明」
- 【2024年度東北支部大会優秀発表賞】8件
- 齊藤はるか
「イネ胚乳由来D-cysteine desulphhydrase の酵素特性の解析
および D-cysteine 定量への応用」
- 中 聖亜
「出芽酵母における輸送体のグルコース不活性化機構の
解析」
- 和田七華
「がん細胞の悪性化における FNDC3A の役割」
- 鈴木瑞季
「遺伝子変異酵母株を用いたオーキシン感受性スクリー
ニング系の確立」
- 俵谷理瑚
「ZenoTOF7600 システムを用いたトリアシルグリセ
ロールヒドロペルオキシドの吸収代謝の評価」
- 井田美帆
「コーヒー由来テルペン類配糖化酵素の基質選択に係る
領域の探索」
- 青沼栄里
「サキシトキシン生合成酵素SxtT の異種発現と反応に
基づく生合成経路の推定」
- 後藤悠友
「推定生合成経路を模倣した citrifuran A の全合成」
- 【日本農芸化学会関東支部優秀発表賞】
- ・口頭賞（3件）
- 高橋尚子（東京農大・応生科・食品安全健康）
「ブラックジンジャー抽出物によるアドレナリン感受性
増強を介したベージュ脂肪細胞の活性化」
- 関野結花（東理大院・創域理工）
「チロシナーゼ阻害活性を示す皮膚常在細菌由来化合物
の探索」
- 三浦健人（東大院・農生科・応生化）
「(+)-costal および β -selinene の立体化学と殺ダニ活性
に関する研究」
- ・ポスター賞（11件）
- 大山ももこ（群馬大院・医）
「ヒト腸内細菌 *Segatella copri* の大麦 β -グルカン代謝遺
伝子群の同定」
- 佐藤綾香（筑波大・院・フロンティア医科学）
「ゼブラフィッシュ評価系を用いた乳酸菌 H61 株の間接
的抗酸化成分の探索」
- 酒造ひなた（筑波大・MiCS）
「マイクロ流体デバイスで示す外部環境に応じた糸状菌
の伸長方向制御」
- 出島晴翔（明治大・農）
「ナトリウムイオン応答転写因子 NhaR の新規ゲノム転
- 写制御ネットワークおよびその生理的意義の解析」
- 大塚陽菜（東農大院・生命）
「Trichoasperellin 類の合成研究」
- 戸澤悠太（筑波大院・理工情報生命）
「能登産ホンダワラ属褐藻由来化合物の $\text{A}\beta 42$ および
hIAPP 凝集阻害活性」
- 久原麻那（早大・人科院）
「ワサビ 6-MSITC によるオートファジー活性化機構と
細胞保護作用の解明」
- 加藤優佑（明大院・農）
「トマトにおけるリン欠乏時の地上部ストリゴラクトン
の生産応答」
- 影山友史（東大院・農生科・応生化）
「ジャスマモン酸応答を活性化させる殺菌剤の探索」
- 明石美鈴（東京理科大院・創域理工）
「ポリフェノールからの過酸化水素生産に有効な光触媒
の検討」
- 本間温大（茨大院・農）
「緑色蛍光タンパク質型マルトースバイオセンサー
Maleficent の開発」
- 【2024年度日本農芸化学会中部支部功労賞】3件
- 牧 正敏, 下位香代子, 前島正義
【2024年度日本農芸化学会中部支部第199回例会支部奨励
賞, 中部支部企業奨励賞および中部支部学術奨励賞】
- ・中部支部企業奨励賞（8件）
- 倉満健人（名古屋大学大学院 生命農学研究科 応用生命
科学専攻）
「高タンパク質食摂取時の腸管バリア機能に対する
1-kestose の影響」
- 藤原愛惟（静岡県立大学大学院薬食生命科学総合学府 食
品栄養科学専攻）
「褐変および糖化抑制作用を示す微生物代謝産物の探索」
- 小川真依（静岡県立大学 食品栄養科学部 食品生命科学科）
「海底熟成ワインのフレーバー特性と熟成メカニズムの
解析」
- 各務杏奈（三重大学大学院 生物資源学研究科 生物圏生
命科学専攻）
「褐藻類からのアルギン酸単糖およびオリゴ糖の生産—
アルギン酸リニアーゼのリサイクル利用法の開発—」
- 芹澤麻衣子（静岡県立大学大学院 薬食生命科学総合学府
食品栄養科学専攻）
「食中毒菌の病原因子に対するバイナップル未利用資源
抽出物の抑制効果」
- 飛岡佳歩（三重大学大学院 生物資源学研究科 生物圏生
命科学専攻）
「ナマズ共生細菌 CFS9 株の魚類エドワジエラ症原因細
菌に対する生育阻害作用」
- 小泉ありさ（中部大学大学院 応用生物学研究科 応用生
物学専攻）

- 「キシラン資化性ウェルシュ菌の構築のためのキシラン分解酵素遺伝子の探索」
安藤春美（名古屋大学大学院 生命農学研究科 応用生命科学専攻）
「ピロロキノリンキノンによるGPR35活性化機構の解明」
・中部支部学術奨励賞（10件）
小林琢磨（静岡県立大学大学院薬食生命科学総合学府薬食生命科学専攻）
「没食子酸誘導体による tyrosine phenol-lyase 阻害機構の解明」
石川りの（名古屋大学大学院生命農学研究科応用生命科学専攻）
「古細菌型メバロン酸経路に存在するプレニル化FMN 依存性デカルボキシラーゼの酵素学的研究」
高橋淳生（名古屋大学大学院創薬科学研究科基盤創薬学専攻）
「時期特異的欠損マウスを用いたタンパク質架橋化酵素 TG1 の機能解析」
今井陸斗（名古屋大学大学院創薬科学研究科基盤創薬学専攻）
「表皮バリア形成に寄与する哺乳類羊水由来因子の探索」
守本好希（名古屋大学大学院生命農学研究科応用生命科学専攻）
「光合成細菌 *Rhodobacter capsulatus* に保存された 機能未知ニトロゲナーゼ類似酵素の機能解析：新規硫黄代謝経路の同定」
奥井美奈（名古屋大学大学院創薬科学研究科基盤創薬学専攻）
「分裂酵母に対する Tschimganine の生育阻害作用とその標的因子の解析」
大友玲実（静岡県立大学食品栄養科学部）
「黄色ブドウ球菌の毒性発現に対する皮膚常在菌代謝物の影響」
杉山弥優（静岡大学大学院総合科学研究科農学専攻）
「コムラサキシメジにおける 2-azahypoxanthine (AHX) の生合成研究」
大砂琴葉（名古屋大学大学院生命農学研究科応用生命科学専攻）
「新規エイコサノイド HKD2 と HKE2 の合成研究」
安藤春美（名古屋大学大学院 生命農学研究科 応用生命科学専攻）
「ピロロキノリンキノンによるGPR35活性化機構の解明」
【日本農芸化学会関西支部第530回講演会 優秀発表賞（支部長推薦）】2件
大藪 葵（京都府大院・生命環境）
「筋老化制御におけるDNAメチル化の役割の解析」
西田快世（京大院・生命）
「新規プラシノステロイドシグナル伝達因子BIL7による植物成長促進機構の解明」
【日本農芸化学会関西支部第530回講演会 優秀発表賞（賛助企業推薦）】2件
池田倭子（京府立大院・生命環境）
「紅茶ポリフェノールの〈腸・脳・代謝臓器〉連関による体熱産生作用」
岡本恵祐（京府立大院・生命環境）
「非保存部位特異的な人工結合タンパク質によるABC transporter の基質排出能阻害」
【日本農芸化学会関西支部第531回講演会 優秀発表賞（支部長推薦）】1件
森川穂香（大阪公立大学大学院農学研究科）
「低酸素条件下で形成される酵素集合体G-bodyの単離・精製に向けた基礎検討」
【日本農芸化学会関西支部第533回講演会 優秀発表賞（支部長推薦）】1件
斧村美優（京都大学大学院農学研究科）
「メタノールと他種化合物との複合基質培養時におけるC1酵母 *Candida boidinii* の代謝制御」
【日本農芸化学会関西支部第533回講演会 優秀発表賞（贊助企業推薦）】1件
佐藤まりん（京都女子大学大学院家政学研究科）
「ABCタンパク質によるコレステロール輸送を活性化させる発酵関連成分の探索」
【日本農芸化学会関西支部第534回講演会 優秀発表賞（支部長推薦）】1件
織井悠樹（神戸大学大学院農学研究科）
「トリプトファンの摂取による腸内環境への影響」
【日本農芸化学会関西支部第534回講演会 優秀発表賞（贊助企業推薦）】1件
松原由伎乃（京都女子大学家政学部）
「唾液腺の除去が味嗜好性に及ぼす影響」
【日本農芸化学会関西支部 2024年度支部技術賞】2件
出雲貴幸，大塚祐多，永井研迅，長谷部杏子（サントリーウエルネス株式会社）
「ロコモティブシンドローム対策を目指したロコモアの開発研究」
吉田健一（神戸大学大学院），四ツ谷昌人，佐藤亮介（株式会社潤工社）
「通気性培養容器による曝気を行わない好気性微生物の培養法」
【2024年度日本農芸化学会中四国支部奨励賞（学生部門）】
38件
関 宏太（鳥取大学大学院持続性社会創生科学研究科）
服部未澄（鳥取大学大学院持続性社会創生科学研究科）
比嘉真美（島根大学大学院自然科学研究科）
阿部佳都（岡山大学大学院環境生命自然科学研究科）
松浦美晴（岡山県立大学大学院保健福祉学研究科）
大垣 翔（広島大学大学院統合生命科学研究科）
佐々木 咲（広島大学大学院統合生命科学研究科）
谷口さくら（福山大学大学院工学研究科）
森口大輔（近畿大学大学院システム工学研究科）
中島さくら（山口大学大学院創成科学研究科）

- 綿貫花菜（香川大学大学院農学研究科）
 赤樋実結（愛媛大学大学院農学研究科）
 王 梓媛（高知工科大学大学院）
 田口遙斗（鳥取大学農学部）
 門永海星（米子工業高等専門学校）
 谷繁愛美（島根大学生物資源科学部）
 吉川哲矢（島根大学生物資源科学部）
 下村勝真（岡山大学農学部）
 高垣栄佑（くらしき作陽大学食文化学部）
 堤 さくら（岡山県立大学保健福祉学部）
 難波紗代（中国学園大学現代生活学部）
 菅原悠李（近畿大学工学部）
 松永空也（広島大学生物生産学部）
 安達千華（山口大学工学部）
 大住竜世（山口大学農学部）
 木村豪留（水産大学校）
 桂 千遙（宇部工業高等専門学校）
 西村日香理（宇部フロンティア大学短期大学部）
 三原陽香（山口県立大学看護栄養学部）
 藤輪心真（香川大学農学部）
 松原有希（香川大学農学部）
 天野拓也（愛媛大学農学部）
 池田汐里（徳島大学生物資源産業学部）
 以西奈央（徳島大学生物資源産業学部）
 檻木 悠（高知県立大学健康栄養学部）
 後藤有乃（高知大学農林海洋科学部）
 佐藤誠人（高知工科大学環境理工学群）
【2024年度中四国支部合同大会第66回講演会 優秀発表賞】
 5件
 江井くるみ（広島大・生物生産）
 「腸内代謝産物HMPAのadenine腎炎モデルマウスにおける腎臓保護効果」
 川寄紗矢佳（広島大院・総合生命）
 「出芽酵母のSAM輸送に関するSsg1による寿命延長メカニズム」
 川上達磨（岡山大院・環境生命）
 「ナノバイオ界面における機能的タンパク質固定化のための分子設計および固定化特性評価」
 中川一志（愛媛大院・農）
 「イソコロナリンDの抗炎症効果に関する研究」
 山田沙羅（徳島大院・創成科学）
 「トマト胚芽廃棄物由来の脱顆粒抑制物質」
【日本農芸化学会西日本支部第351回講演会 優秀発表賞】
 14件
 岩崎栞里（長崎県大・看護栄養）
 「ホスファチジルイノシトールの肝臓脂質蓄積抑制作用—構成塩基との比較—」
 椎葉望実（鹿児島大院・農林水産）
 「褐藻アミジグサに含まれる二次代謝産物の単離・構造決定」
 右橋 陸（九大院・生資環）
 「プロシアニジンC1のマイクロRNAを介した骨格筋の分化促進作用」
 岸 洋聖（九大院・生資環）
 「緑茶摂取により変動したマイクロRNAによるマウスの認知機能調節作用」
 亀甲 理（九大院・生資環）
 「温泉由来新規Cas9の機能構造解析」
 高山智史（九大院・生資環）
 「形質評価に基づいたファージ耐性化大腸菌の制御」
 大内 凌（九大院・生資環）
 「III-B型CRISPR-Casエフェクターの機能構造解析」
 浅野陽来（九大院・生資環）
 「マダニ抗血液凝固蛋白質マダニンの活性化機構」
 石川鈴恵（熊本県大院・環境共生）
 「乳酸ベースバイオプラスチックを合成する*Cupriavidus necator*の分子育種」
 戎亥衣祝（九州歯科大・感染分子）
 「口腔がん細胞の増殖を抑制する口腔内常在細菌の存在」
 山本彩翔（九大院・生資環）
 「遺伝子発現解析による高度好熱菌*Calditerricola satsumensis*D3株の低温耐性機構の解明」
 Huynh Cong Khanh（長崎大院・水産）
 「Proline production in engineered *Halomonas elongata*」
 高橋柚香（九大院・生資環）
 「黄麹菌における小胞体オートファジーに関する分子機構解析」
 中村龍之介（鹿児島大院・理工）
 「沖縄産ジャノメアメフラシ由来の生物活性二次代謝産物の探索」
【2024年度西日本支部合同大会第352回講演会 優秀発表賞】
 9件
 〈博士の部：2件〉
 辻 さやか（鹿児島大院・連合農）
 「X線結晶構造から見る亜熱帯性植物ギンネムの生存戦略～ギンネム由来ミモシン合成酵素は何故ミモシン合成能を獲得できたのか？～」
 森 尚寛（九州大院・生資環）
 「抗硫酸化チロシン抗体のリガンド複合体の結晶構造解析」
 〈修士の部：7件〉
 磯貝 航（九州大院・生資環）
 「緑茶カテキンEGCGの抗がん作用をフラバノノールFustinが増強する」
 入交 伶（九州大院・生資環）
 「通性嫌気性菌を用いた効率的なプラズマローゲン生産方法の確立」
 漆原良太（九州大院・生資環）
 「植物がもつC-to-U型RNA編集機構の分子基盤」

久保樹香（佐賀大院・農）

「海藻の糸状菌発酵による機能性物質生産に関する研究」

陣内亜由武（佐賀大院・先進健康）

「紅藻スサビノリ由来 Isofloridoside は甘味受容体 T1R2/T1R3 の活性化を介してマウスの摂餌を抑制する」

樋口未菜（長崎県大院・人間健康・栄養）

「4-コレステノン摂取が雌雄 ApoE 欠損マウスの脂質代謝異常に及ぼす影響」

吉田雄団（九州大院・生資環）

「*Calditerricola* 属高度好熱性細菌が下水汚泥堆肥化における影響調査」

【日本農芸化学会西日本支部第353回講演会 優秀発表賞】

5件

〈博士の部：2件〉

Shinnosuke Tanaka (Grad. Sch. Bioresour. Bioenviron. Sci., Kyushu Univ.)

“Crystal structure of human tyrosylprotein sulfotransferase-1 and CCR5 peptide complex provides putative chemokine receptor sulfation model”

Tsukasa Orita (Grad. Sch. Agric., Kagoshima Univ.)

“Green tea extract (GTE) prepared with daily infusion style prevents dyslipidemia by targeting intestinal lipid absorption, hepatic lipid metabolism and gut microbiota composition”

〈修士の部：3件〉

Rio Hirata (Grad. Sch. Bioresour. Bioenviron. Sci., Kyushu Univ.)

“Crystal structure of *Arabidopsis thaliana* sulfotransferase SOT18 involved in glucosinolate biosynthesis”

Suklerd Pattaranon (Grad. Sch. Environment. Sci., Nagasaki Univ.)

“Cell Surface Engineering as a Tool to Transform the Moderately Halophilic *Halomonas elongata* into a Nutritious Single-Cell Eco-Feed”

Kosei Ikenomoto (Grad. Sch. Bioresour. Bioenviron. Sci., Kyushu Univ.)

“Investigation of the effect of *Clostridium* species on the intestinal microbiota using in vitro culture model”

【令和6年度日本農芸化学会西日本支部 奨励賞（一般の部）】

2件

門岡千尋（崇城大学生物生命学部）

「病原性糸状菌におけるマンノース転移酵素に関する研究」

北野（大植）隆司（近畿大学産業理工学部）

「中鎖脂肪酸受容体GPR84 を基軸とした栄養シグナルによる代謝性疾患の予防戦略」

(4) 助成金・補助金・交付金の交付を通じて農芸化学の発展を目的とする事業

1) 農芸化学研究企画賞の助成 ※100周年記念事業（一

部）第21回農芸化学研究企画賞の2件に4,000,000円を助成した。第21回農芸化学研究企画賞の助成金へ下記12社より18口の御寄附をいただいた。アサヒクリティーアンドイノベーションズ(株), 味の素(株), 天野エンザイム(株), (株)カネカ, キッコーマン(株), キリンホールディングス(株), サッポロビール(株), サントリーウエルネス(株), 長谷川香料(株), 森永乳業(株), ヤマサ醤油(株), 雪印メグミルク(株)

2) 農芸化学中小企業産学・産官連携研究助成 ※100周年記念事業第6回農芸化学中小企業産学・産官連携研究助成の7件に7,000,000円を助成した。

松浦英幸・阿部圭馬（北海道大学大学院農学研究院・株式会社アミノアップ）

「人為的に植物を酷暑に強くするバイオスティミュラントの開発」1,000,000円

白川 仁・駒井三千夫（東北大学大学院農学研究科・株式会社東北アグリサイエンスイノベーション）

「放射光を用いたコメ穀（もみ）組織中の元素分布の解析」1,000,000円

大田ゆかり・樋口慶郎（群馬大学食健康科学教育研究センター・株式会社グッドアイ）

「窒素肥料の低減に向けた杉バーク発酵バイオスティミュラントの開発」1,000,000円

柳瀬笑子・渡邊恵巳（岐阜大学応用生物科学部・日新蜂蜜株式会社）

「醸酵ジャバラ中の抗アレルギー性成分の探索」1,000,000円

田村 理・山本幸一（和歌山県立医科大学薬学部・有限会社エコファームわかやま）

「迅速粉末化させた桑の葉「生」茶に特徴的な健康増進効果の探求」1,000,000円

山本祥也・吉田充史（広島大学大学院統合生命科学研究所・オタフクソース株式会社）

「デーツ残渣のγ-アミノ酪酸合成促進作用に着目した機能性食品の開発」1,000,000円

仲山英樹・民野博之（長崎大学総合生産科学域（環境科学領域）・マルキ醤油株式会社）

「醤油諸味由来の蔵つき乳酸菌NN26株におけるDL-アラニン生合成機構の解明と醤油粕から化粧品素材を生産するハロモナス細胞工場の開発」1,000,000円

3) 農芸化学女性研究者チャレンジ研究助成の助成 ※100周年記念事業 第4回農芸化学女性研究者チャレンジ研究助成の2件に2,000,000円を助成した。

吳 静（静岡大学農学部・特任助教）

「高等菌類におけるホルモンの解明」1,000,000円

丸山明子（九州大学大学院農学研究院・教授）

「植物における硫酸化物の網羅的同定とその生理的意義」1,000,000円

4) 農芸化学若手女性研究者チャレンジ研究助成の助成

※100周年記念事業第4回農芸化学若手女性研究者チャレンジ研究助成の2件に1,000,000円を助成した。

叶 奈緒美（山形大学農学部・准教授）

「食品成分ベンジルイソチオシアネットによる染色体不安定性依存的な細胞増殖抑制機序の解明」500,000円
前野優香理（東京大学大学院農学生命科学研究科、日本学術振興会・特別研究員PD）

「グルタミン酸受容体リガンド天然物の生合成機構の解明と物質生産への応用」500,000円

5) 研究奨励金、国際会議出席費補助金の助成

第52回 研究奨励金 5件 2,500,000円

小栗靖生（京都大学大学院農学研究科・助教）

「食事誘発性熱産生の分子基盤解明と生活習慣病への応用」500,000円

門岡千尋（崇城大学生物生命学部生物生命学科・助教）

「二形成糸状菌Sporothrix schenckiiにおける温度依存性形態変化機構の解析」500,000円

辰川英樹（東海国立大学機構名古屋大学大学院創薬科学研究所・助教）

「細胞外マトリクスの変化を標的とした組織硬化の分子機構解明と病態制御」500,000円

西村慎一（広島大学大学院統合生命科学研究科・教授）

「炭素循環を担う海洋バクテリアの化学生態学研究」500,000円

目黒康洋（東北大学大学院農学研究科・助教）

「顕著な狭域抗菌活性を有するマクロジオライド天然物の全合成と構造活性相関」500,000円

第81回 国際会議出席費補助金 5件 1,000,000円

【一般枠】3件 600,000円

藤井靖之（芝浦工業大学SIT総合研究所・特任研究員）

「第11回ポリフェノールと健康国際会議」(2024/10/16～10/19 アメリカ) 150,000円

向井理恵（徳島大学大学院社会産業理工学研究部・准教授）

「第11回ポリフェノールと健康国際会議」(2024/10/16～10/19 アメリカ) 150,000円

山下陽子（神戸大学大学院農学研究科・准教授）

「第11回ポリフェノールと健康国際会議」(2024/10/16～10/19 アメリカ) 300,000円

【院生枠】2件 400,000円

奥村太知（東北大学大学院理学研究科・博士課程後期1年）

「第5回ヨーロッパ天然物会議」(2024/10/22～10/24 ドイツ) 250,000円

府川江央留（京都大学大学院農学研究科応用生命科学専攻・修士2年）

「電気化学および固体科学に関する環太平洋会議2024」(2024/10/6～10/11 アメリカ) 150,000円

第82回 国際会議出席費補助金 4件 1,100,000円

【一般枠】2件 600,000円

石坂朱里（兵庫県立大学環境人間学部・助教）

「国際ミルクゲノムコンソーシアムハイブリッドシンポジウム2025」(2025/9/16～9/18 デンマーク) 300,000円
納庄一樹（東京大学大学院農学生命科学研究科・助教）

「第20回国際放線菌会議」(2025/6/15～6/19 オランダ) 300,000円

【院生枠】2件 500,000円

坂本奏人（鳥取大学大学院持続性社会創生科学研究科・博士前期課程2年）

「2025年国際線虫会議」(2025/6/28～7/2 アメリカ) 200,000円

若松寿衣（広島大学大学院統合生命科学研究科・博士課程2年）

「第35回シロイヌナズナ国際会議」(2025/6/16～6/20 ベルギー) 300,000円

6) 外国人等講演会の開催補助
2024年度の申請はなかった。

7) 国際シンポジウムの開催補助
2024年度の開催はなかった。

8) 薦田講演会の開催補助
2024年度の申請はなかった。

9) 薦田セミナーの開催補助
2024年度の申請はなかった。

10) 学校教育における農芸化学の普及活動の補助
2024年度の申請はなかった。

11) 中学校・高等学校への出前授業
2024年度は下記のとおり、全1回開催した。

1 [第69回] 2025年1月22日（水）愛知県名古屋市立大高中学校「食べ物を「おいしくする」見えない酵素の世界」講師：大川敦司氏（天野エンザイム株式会社イノベーション本部フロンティア研究部農学博士）聴講者：中学2年生24名

12) 支部所属の会員へ研究会開催のための補助
北海道支部

【講演会補助事業】2件

申請者：崎浜靖子（北海道大学大学院農学研究院）

DEIセミナー「キャリアパスとしての大学と研究環境でのDEIを考える」

開催日：3月14日

会場：北海道大学農学部

補助額10,000円

申請者：浦木康光（北海道大学大学院農学研究院）

「宇宙空間におけるセルロース合成」

砂川直輝（東京大学大学院農学生命科学研究科）

開催日：12月13日

会場：北海道大学農学部

補助額10,000円

関東支部

【若手発案企画】3件

申請者：福井康祐（東京理科大学）

第六回植物生長調節物質若手研究会

開催日：2024年9月2日～3日

会 場：東京理科大学セミナーハウス

補助総額100,000円

申請者：藤巻貴宏（東京農業大学）

第8回天然物化学研究会—多様化する天然物化学のアプローチー

開催日：2024年11月22日

会 場：東京農業大学世田谷キャンパス

補助総額100,000円

申請者：宮本皓司（帝京大学）

第10回植物二次代謝フロンティア研究会

開催日：2024年11月16日～17日

会 場：帝京大学箱根セミナーハウス

補助総額100,000円

関西支部

【提案公募事業】4件

申請者：片山高嶺（京都大学大学院生命科学研究科）

ビフィズス菌研究会国際シンポジウム開催補助金

補助総額200,000円

申請者：橋本 渉（京都大学大学院農学研究科）

第73回日本応用糖質科学会2024年度大会開催補助金

補助総額200,000円

申請者：福田伊津子（神戸大学大学院農学研究科）

産学連携交流会開催補助金

補助総額100,000円

申請者：竹内道樹（京都工芸繊維大学）

日本生物工学会脂質未来開拓研究部会2025年度講演会

開催補助金

補助総額200,000円

13) 支部所属の学生会員へ年次大会等への参加旅費の補助

北海道支部

日本農芸化学会2024年度大会（東京）

12名（新規入会7名）補助総額737,415円

2024年度 日本農芸化学会北海道支部 第1回学術講演会

8名（新規入会4名）補助総額116,161円

2024年度 日本農芸化学会北海道支部 第2回学術講演会

3名（新規入会3名）補助総額58,521円

東北支部

日本農芸化学会東北支部第159回大会（福島）学生旅費

補助金

15名補助総額153,160円

中四国支部

学会創立100周年記念日本農芸化学会2024年度中四国支部大会（第69回講演会）（愛媛）参加旅費補助金

4名補助総額78,612円

学会創立100周年記念日本農芸化学会中四国支部第70回講演会（広島）参加旅費補助金

4名補助総額67,344円

【その他の事業】

(1) 事業活動の公開と情報発信事業

1) 学会サイトにおいて各種会告の掲載、掲載情報の追加や更新をした。

2) ニュースメール及びSNSの活用、本会の活動内容等の逐次発信

2024年度はメールアドレス登録会員向けニュースメールを53回配信した。メールアドレス登録者は2025年2月現在約5,930名である。

支部の会員に限定し、支部からの案内メールを下記のとおり配信した。

北海道支部13回、東北支部6回、関東支部10回、中部支部9回、関西支部14回、中四国支部4回、西日本支部0回。行事の開催情報をSNSで発信した。

3) 日本農芸化学会会長主催シンポジウムの開催

各支部に所在する大学における農芸化学会の普及活動として、日本農芸化学会会長主催シンポジウムを以下のとおり2回開催した。

1 [第3回] (松江) 2024年5月8日（水）島根大学・松江キャンパス（参加者数109名）

2 [第4回] (鹿児島) 2024年12月11日（水）鹿児島大学学習交流プラザ2階（参加者数約67名）

4) 内外の関連機関と会誌の寄贈・交換

2024年の会誌の寄贈・交換は下記のとおりである。

[和文誌の寄贈・交換] 23件（国内16件、海外7件）

国内：

- | | |
|---------------|---------------------------------------|
| ・国会図書館 | ・農林水産省図書館 |
| ・科学技術振興機構 | ・工業所有権情報・研修館 |
| ・国際医学情報センター | ・日本化学会 |
| ・日本生化学会 | ・日本生物工学会 |
| ・日本薬学会 | ・繊維学会 |
| ・バイオインダストリー協会 | ・日本香料協会 |
| ・有機合成化学協会 | ・山陽技術振興会 |
| ・科学新聞社 | ・インフォーママーケッツ
ジャパン(株)「食品と開発」
編集部 |

海外：

- ・中国農業化学会（台）
- ・The British Library（英）
- ・The Science Library Science Museum（英）
- ・Library Chinese Academy of Agricultural Sciences（中）
- ・The Library of Chinese Academy of Sciences（中）
- ・Chemical Abstracts Service（米）
- ・USDA National Agricultural Library（米）

※Russian Academy of Sciences Library（露）はロシア宛の国際郵便物の引受一時停止により送付停止中

[英文誌の寄贈・交換] 11件（国内4件、海外7件）

国内：

- | | |
|--------|-----------|
| ・国会図書館 | ・科学技術振興機構 |
|--------|-----------|

・工業所有権情報・研修館　　・日本薬学会

海外：

- ・The British Library (英)
- ・China National Chemical Information Center (中)
- ・Library Chinese Academy of Agricultural Sciences (中)
- ・The Library of Congress Asian Middle Eastern division (米)
- ・The Library Publications & Information Directorate (印)
- ・Agricultural Science in Finland (フィンランド)
- ・I.N.R.A.C.R. de Jouy-en-Josas Domaine de Vilvert Unite Centrale de Documentation (仏)

※The Institute of Scientific Information Russia Academy of Sciences (露), Russian Academy of Sciences Library (露) はロシア宛の国際郵便物の引受一時停止により送付停止中

5) フェロー制度を活用、本会の発展に顕著な貢献をなした正会員の功績を称えるとともに、本会の更なる発展へ向けての活動を嘱する。

2024年度新たな承認はなかった。現在93名の承認者となっている。

[2014～2024年度承認93名]

麻田恭彦、浅野泰久、安達修二、阿部啓子、安部康久、池田郁男、伊藤幸成、稻垣賢二、井上國世、上口美弥子、植田和光、内海俊彦、内海龍太郎、生方 信、裏出令子、江坂宗春、遠藤銀朗、大澤俊彦、大島敏久、大東 肇、長田裕之、小鹿 一、尾添嘉久、小田耕平、加藤陽治、加納健司、上村一雄、河合富佐子、河岸洋和、川端 潤、神崎 浩、木曾 真、北本勝ひこ、木村 誠、工藤俊章、久原 哲、熊谷日登美、河野憲二、児島宏之、後藤俊男、小林哲夫、駒井三千夫、五味勝也、小山泰二、沢村正義、重岡 成、清水(肖)金忠、新免芳史、水光正仁、須貝 威、菅沼俊彦、關谷次郎、園元謙二、田中啓司、田之倉優、土屋英子、寺尾純二、徳田 元、戸坂 修、中野長久、西田律夫、早川 茂、林 英雄、原 博、深見治一、福田恵温、福田雅夫、伏木 亨、藤田泰太郎、古川謙介、牧 正敏、正木春彦、松井博和、松尾憲忠、松下一信、松田 讓、松本正吾、宮川都吉、宮澤陽夫、三輪清志、三輪 操、村田幸作、森 信寛、柳田晃良、山田耕路、山田 守、山根久和、山本憲二、山本万里、横田孝雄、吉澤結子、吉田 稔、依田幸司

(2) 関連学協会、産業界、官界等との連携・協力の推進事業

1) 日本学術会議の活動に「日本学術会議協力学術研究団体」として密接に連携した。

2) 日本学術会議農芸化学分科会との連携を強化した。

2024年度に開催したサイエンスカフェのうち、第154回「発酵」をキーワードにした縄文遺跡の新たな魅力探求」、

第156回「徳島発のバイオテクノロジー：阿波晩茶とコオロギの魅力」を日本学術会議農芸化学分科会との共催とした。

3) 日本農学会に評議員、運営委員として会員を派遣し、活動した。

2024年度に開催された日本農学会運営委員会に庶務理事が出席し、日本農学会評議員会に会長、副会長1名、庶務理事が出席した。また2025年度日本農学賞に本会から1件を推薦した。

4) 公益財団法人農学会の農学教育推進委員会及び農学一般関連分野審査委員会に委員としてJABEE対応委員長が出席し、連携・協力を推進した。

5) 日本生物工学会の生物工学および生物工学関連分野審査委員会に委員として、連携・協力を推進した。

6) 化学情報協会の正会員として、活動した。

7) 日本国際食品科学工学連合に会員として参加した。

8) 日本光生物学協会に委員として会員を推薦し、活動した。本会会員1名が、日本光生物学協会の会計幹事を務め、委員会にも参加した。

9) 日本微生物学連盟に会員、理事として参加し、活動した。日本微生物学連盟理事会に本会代表として会員が出席した。

10) 日本昆虫科学連合に会員として参加し、活動した。

日本昆虫科学連合総会に本会会員1名がオンラインで出席した。また4年に1度開催される昆虫科学の国際学会であるICE 2024 (International Conference of Entomology 2024) を京都で主催し、会員が参加した。

11) 男女共同参画学協会連絡会に会員として参加し、活動した。

・男女共同参画学協会連絡会運営委員会にダイバーシティ推進委員が出席した。

・加盟学会の2024年活動調査について本会の結果を報告した。

・女子中高生夏の学校2024にダイバーシティ推進委員が参加し、本会の活動を紹介した。

12) 生物科学学会連合に会員として参加し、活動した。

生物科学学会連合定例会議に本会代表として庶務理事が出席した。

13) 和食文化国民会議に会員として参加した。

14) 国内学術集会の共催・協賛・後援

[2024年] (50件)

・バイオエンジニアリング研究会講演会「日本のバイオ医薬品産業の飛躍に向けて～拠点整備、部素材供給、人材育成」(Web開催)《後援》(3月27日)

・“未来へのバイオ技術”勉強会「異分野・複合・新領域研究の現在地」(Web開催)《後援》(4月9日)

・“未来へのバイオ技術”勉強会「美味しい食肉の確保と食品ロス解消に向けた新しい取り組み～腐敗コントロールと食品加工の面から」(東京・ハイブリッド開催)《後援》(4月15日)

・学術変革領域研究 (A)「潜在空間分子設計」第2回公開

- シンポジウム（東北大）《後援》(6月12日-13日)
- ・界面コロイドラーニング第40回現代コロイド・界面化学基礎講座東京会場（同志社大東京オフィス）《後援》(6月13日-14日)
 - ・先端技術情報セミナー「宇宙未来ヴィジョン：夢と未来が交差する革新の舞台」(Web開催)《後援》(6月13日)
 - ・熱測定講習会2024（東京理科大・ハイブリッド開催）《後援》(6月14日から全4回)
 - ・第396回液体クロマトグラフィー研究懇談会（東京）《後援》(6月26日)
 - ・界面コロイドラーニング第40回現代コロイド・界面化学基礎講座大阪会場（大阪）《後援》(6月27日-28日)
 - ・第397回液体クロマトグラフィー研究懇談会（東京）《後援》(7月19日)
 - ・第14回高校生バイオサミット in 鶴岡（山形）《後援》(8月21日-23日)
 - ・日本包装学会第33回年次大会（東京海洋大・ハイブリッド開催）《後援》(8月28日-29日)
 - ・第38回日本キチン・キトサン学会大会（京都府大）《後援》(8月29日-30日)
 - ・講演会「資源循環・環境に役立つ化学」(東京・ハイブリッド開催)《後援》(8月30日)
 - ・2024年度日本冷凍空調学会年次大会（九州産業大）《後援》(9月4日-6日)
 - ・“未来へのバイオ技術”勉強会／「シン・育種法Part2」(Web開催)《後援》(9月4日)
 - ・第75回コロイドおよび界面化学討論会（東北大・ハイブリッド開催）《後援》(9月17日-20日)
 - ・第40回有機合成化学セミナー（新潟）《後援》(9月18日-20日)
 - ・第40回シクロデキストリンシンポジウム（東大）《後援》(9月19日-20日)
 - ・未来社会を支える温暖化対策技術シンポジウム in 関西（大阪）《後援》(9月19日)
 - ・第399回液体クロマトグラフィー研究懇談会（東京）《後援》(9月20日)
 - ・第60回熱測定討論会（京都）《後援》(9月26日-28日)
 - ・第34回イソプレノイド研究会例会（東京大）《後援》(9月27日)
 - ・KISTEC教育講座「微生物発電が導く未来へのサステイナブル・バイオテクノロジー」(神奈川)《後援》(10月4日)
 - ・日本清涼飲料研究会「第33回研究発表会」(東京)《後援》(10月8日)
 - ・大豆のはたらき一人と地球を健康に—(Web開催)《後援》(10月11日)
 - ・第72回レオロジー討論会（山形）《後援》(10月17日-18日)
 - ・第400回記念液体クロマトグラフィー研究懇談会（東京）《後援》(10月23日)
 - ・アンチエイジング研究シンポジウム「健康・病態研究への新しいアプローチ」(東大)《後援》(10月25日-26日)
 - ・第68回香料・テルペンおよび精油化学に関する討論会（TEAC2024）(信州大)《後援》(10月26日-28日)
 - ・第24回生体触媒化学シンポジウム in 岐阜（岐阜）《後援》(10月31日-11月1日)
 - ・第74回プラスチックフィルム研究会講座（東工大・ハイブリッド開催）《後援》(10月31日)
 - ・第3回岡山大学寄付講座微生物インダストリー講座シンポジウム（岡山大）《後援》(11月1日)
 - ・第55回中化連秋季大会（名古屋工大）《後援》(11月2日-3日)
 - ・第125回有機合成シンポジウム（早稲田大）《後援》(11月7日-8日)
 - ・第23回食品レオロジー講習会—初心者のための実習と基礎：食感・風味の制御に向けて—（東大）《後援》(11月7日-8日)
 - ・日本希土類学会第42回講演会（神奈川）《後援》(11月8日)
 - ・日本たまご研究会第20回記念大会（京都女子大）《後援》(11月9日)
 - ・“AIと有機合成化学” 第5回公開講演会（早稲田大）《後援》(11月13日)
 - ・プロテイン・アイランド・松山2024（愛媛大）《後援》(11月14日-15日)
 - ・生物発光化学発光研究会第39回学術講演会（慶應大）《後援》(11月16日)
 - ・第21回糖鎖科学コンソーシアムシンポジウム（福島）《後援》(11月19日-20日)
 - ・産研環境創生研究部門講演会 水環境浄化・計測のための環境バイオ技術の最前線（東京）《後援》(11月22日)
 - ・第60回記念植物化学シンポジウム 植物ケミカルが繋ぐ異種生物間情報ネットワーク（東京大）《後援》(11月22日)
 - ・第156回サイエンスカフェ in 徳島（徳島大）《共催》(11月24日)
 - ・第87回有機合成化学協会関東支部シンポジウム—前橋シンポジウム一（群馬）《後援》(11月30日)
 - ・革新的環境技術シンポジウム 2024（東京・ハイブリッド開催）《後援》(12月3日)
 - ・第51回有機典型元素化学討論会（京大）《後援》(12月5日-7日)
 - ・2024年度有機合成化学講習会（東京）《後援》(12月5日)
 - ・第402回液体クロマトグラフィー研究懇談会（京都）《後援》(12月17日)
- 【2025年】(32件)**
- ・第3回プラズマ種子科学研究会（沖縄）《後援》(1月6日-8日)
 - ・第30回LC & LC/MS テクノプラザ（東京）《後援》(1月

- 15日-16日)
- ・第42回コロイド界面技術シンポジウム（同志社大東京オフィス・ハイブリッド開催）《後援》(1月23日-24日)
 - ・第403回液体クロマトグラフィー研究懇談会（神奈川）《後援》(1月24日)
 - ・第30回高専シンポジウム（岡山・ハイブリッド開催）《後援》(1月25日)
 - ・第17回千葉県分析化学交流会～新春企業特集（千葉）《後援》(1月29日)
 - ・KISTEC教育講座「システム構成とコストマネージメントから考える海洋水産資源開発」（神奈川）《後援》(2月4日)
 - ・第404回液体クロマトグラフィー研究懇談会（東京）《後援》(2月19日)
 - ・第13回低温・氷温研究会（鳥取）《後援》(3月1日)
 - ・第75回プラスチックフィルム研究会講座（東京科学大）《後援》(3月12日)
 - ・コロイド先端技術講座2024（同志社大東京オフィス・ハイブリッド開催）《後援》(3月14日)
 - ・第405回液体クロマトグラフィー研究懇談会（東京）《後援》(3月27日)
 - ・第406回液体クロマトグラフィー研究懇談会（東京）《後援》(4月24日)
 - ・第36回万有仙台シンポジウム（東北大）《後援》(5月10日)
 - ・シンポジウム「モレキュラー・キラリティー2025」（名古屋大）《後援》(5月16日-17日)
 - ・中西香爾先生御生誕百年記念会（大阪大）《後援》(5月17日)
 - ・第88回有機合成化学協会関東支部シンポジウム（工学院大学シンポジウム）（工学院大新宿キャンパス）《後援》(5月17日)
 - ・第41回希土類討論会（岡山）《後援》(5月22日-23日)
 - ・第407回液体クロマトグラフィー研究懇談会（東京）《後援》(5月22日)
 - ・潜在空間分子設計第3回公開シンポジウム（慶應大）《後援》(5月29日-30日)
 - ・第35回万有福岡シンポジウム（九州大）《後援》(6月7日)
 - ・第30回地下水・土壤汚染とその防止対策に関する研究集会（京都大）《後援》(6月25日-26日)
 - ・第126回有機合成シンポジウム（京大）《後援》(6月26日-27日)
 - ・第62回アイソトープ・放射線研究発表会（東京）《後援》(7月2日-4日)
 - ・第37回万有札幌シンポジウム（北大）《後援》(7月5日)
 - ・第58回天然物化学談話会（千葉）《後援》(7月13日-15日)
 - ・HPLC & LC/MS講習会2025（神奈川）《後援》(7月30日-8月1日)
 - ・第44回日本糖質学会年会（青森）《後援》(10月2日-4日)
 - ・第54回複素環化学討論会（東大）《後援》(10月9日-11日)
 - ・第62回ペプチド討論会（福岡）《後援》(10月21日-23日)
 - ・第24回食品レオロジー講習会—初心者のための実習と基礎：食感・風味の制御に向けて—（東大）《後援》(11月6日-7日)
 - ・ミツバチサミット2025（茨城）《後援》(11月22日-24日)
- 15) その他外部団体との連携
- ・日本学術振興会の第21回日本学術振興会賞に本会から推薦しなかった。
 - ・持田記念医学薬学振興財団の2024年度持田記念学術賞に本会から推薦しなかった。
 - ・日本学術振興会の第15回育志賞に本会から1件を推薦した。
 - ・令和7度科学技術分野の文部科学大臣表彰に本会から推薦しなかった。
 - ・農学会の第23回日本農学進歩賞に本会から1件を推薦した。
 - ・島津科学技術振興財団の2024年度島津賞、2024年度島津奨励賞に本会から推薦しなかった。
 - ・朝日新聞文化財団の2024年度朝日賞に本会から推薦しなかった。
 - ・上原記念生命科学財団の2024年度上原賞に本会から推薦しなかった。
 - ・小林財団の第6回小林賞に本会から推薦しなかった。
 - ・井上科学振興財団の第41回井上学術賞に本会から推薦しなかった。
 - ・内藤記念科学振興財団の2024年度内藤記念科学振興賞に本会から推薦しなかった。
 - ・三島海雲記念財団の第14回三島海雲学術賞に本会から1件を推薦した。
 - ・木原記念横浜生命科学振興財団の第33回木原記念財団学術賞に本会から1件を推薦した。
 - ・東レ科学振興財団の第65回東レ科学技術賞に本会から推薦しなかった。
 - ・東レ科学振興財団の第65回東レ科学技術研究助成に本会から2件を推薦した。
 - ・飯島藤十郎記念食品科学振興財団の2024年度飯島藤十郎食品科学賞、飯島藤十郎食品技術賞に本会から推薦しなかった。
 - ・日本農学会の2025年度日本農学賞に本会から1件を推薦した。
 - ・森永奉仕会の令和6年度森永奉仕会賞、令和6年度森永奉仕会研究奨励金に本会から推薦しなかった。
 - ・藤原科学財団の第66回藤原賞に本会から1件を推薦した。
 - ・第一三共生命科学研究振興財団の第22回高峰記念第一三共賞に本会から推薦しなかった。
 - ・山田科学振興財団の2025年度研究援助に本会から3件を推薦した。
 - ・茨城県立科学技術振興財団の2024年度江崎玲於奈賞に本会から推薦しなかった。

- ・日本学術振興会の第40回国際生物学賞に本会から推薦しなかった。

(3) 関連する国際協力の推進事業

- 1) 國際學術集会の共催・協賛・後援

【2024年】(3件)

- ・International Symposium on Plasmid Biology 2024 (静岡)《後援》(9月2日-6日)
- ・The 10th International Symposium on Transformative Bio-Molecules (ISTbM-10) および the 8th Tsuneko & Reiji Okazaki Award (名古屋大)《後援》(12月12日)
- ・2024 Sakura-Bio Meeting in OKINAWA (沖縄科学技術大)《後援》(12月16日-17日)

【2025年】(2件)

- ・第26回名古屋メダルセミナー (名古屋大)《後援》(1月24日)
- ・第41回シクロデキストリンシンポジウム・第12回アジアシクロデキストリン国際会議（合同開催）(同志社大)《後援》(11月7日-10日)

(4) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

- 1) 最高裁判所及び東京地方裁判所に知的財産専門委員候補者3名を推薦し、協力した。

【総会、理事会、委員会の開催】

2024年度（2024年3月1日から2025年2月28日）は下記のとおり開催した。

・総会

第68回（2024年度）定期総会を2024年5月30日、東京大学中島董一郎記念ホール（東京都文京区弥生1-1-1）において開催し、次の議案を可決した。

第1号議案 貸借対照表及び正味財産増減計算書の承認の件

第2号議案 名誉会員承認の件

・役員候補者等選考委員会（2回）

8月23日

11月22日

・理事会（6回）

5月10日：①2023年度事業報告書承認の件、②2023年度決算書類承認の件及び監査報告、③通常総会開催の件（総会議案の承認）、④企業研究者活動表彰の承認、⑤若手女性研究者賞受賞候補者申請書の一部追加、⑥農芸化学女性研究者チャレンジ研究助成及び農芸化学若手女性研究者チャレンジ研究助成の英字表記、⑦旅費交通費及び宿泊費規程の変更

5月30日：①入会員の承認、②役員候補者等選考委員会委員の承認、③BBBのSNS配信の外部委託契約、④日本学術会議との共催時のサイエンスカフェの開催形態、⑤事務局人事

7月29日：①入会員の承認、②渉外担当理事、③科学研究費助成事業の全体額増加に関する要望書への賛同、④農芸化学女性研究者賞等授賞選考委員の承認、⑤Springer Nature誌からの提案に関する賛助会員向け参加希望調査実施、⑥韓国微生物学会（KNB）との連携シンポジウムの継続開催、⑦国際シンポジウムの承認、⑧化学と生物誌及びBBB誌の在庫処分の承認、⑨経理規程の変更案、⑩顧問会計士業務委託項目内容の追加

10月9日：①入会員の承認、②定款の変更、③役員候補者等選考委員会規程の変更、④有功会員候補者の承認、⑤次期事業計画案の作成、⑥創立100周年記念誌第二部Webコンテンツ制作業者の選定、⑦2025年度大会参加費、⑧2027年度大会以降の運営委託業者選定の仕様書及びスケジュール、⑨COUNTER 5.1とジャーナルのフリーアクセスコンテンツについてのOxford University Press (OUP)からの提案（追認）、⑩第81回国際会議出席費補助金（一般枠・院生枠）の承認、⑪農芸化学女性研究者賞等授賞選考委員辞任の承認、⑫研究助成規程の変更、⑬英文誌の交換本停止の承認、⑭顧問会計士業務委託契約内容の変更

12月13日：①入会員の承認、②有功会員候補者の承認、③各種表彰の承認、④各種助成金の承認、⑤2025年度事業計画第一次案、⑥2025年度収支予算第一次案、⑦委員及び幹事規程変更案

2月14日：①陪席者の承認、②入会員の承認、③2025年度の事業活動（案）、④一般会員及び国外在住外国人会員の会費の改訂、並びに大学卒業・大学院修了後の一般会員の会費を学生会費に据え置く優遇措置の終了について（会費規程変更）、⑤FUTURE農芸化学100寄附金の使途計画（案）、⑥新事業財務検討ワーキンググループの発足、⑦賞の在り方に関する検討会の発足、⑧将来構想検討ワーキンググループからの答申の承認、⑨授賞選考委員の改選、⑩2024年BBB論文賞、Most Cited Review Awardの承認、⑪第82回国際会議出席費補助金の承認、⑫創立100周年記念事業の予算案（特定資産取崩）、⑬2025年度予算最終案の承認及び資金調達等の見込み、⑭委員及び幹事規程変更案、⑮2027年度大会（名古屋）の実行委員長の指名、⑯2025年度大会の運営委託契約、⑰2025年度大会附設展示会及びランチョンセミナーの業務委託契約、⑱インボイス制度導入に伴う業務範囲に関する合意書、⑲2027年度大会以降の運営委託業者選定方法の変更

・授賞選考委員会（2回）

11月6日：①日本農芸化学会賞・日本農芸化学会功績賞・日本農学賞本会推薦候補者の選考

12月5日：①農芸化学技術賞・農芸化学奨励賞・藤原賞本会推薦候補者の選考

・学術活動強化委員会（2回）

3月25日：①「化学と生物」シンポジウムについて、②分

野融合連携（他学会連携）シンポジウムについて、③国際シンポジウム開催補助について、

10月15日：①第52回化学と生物シンポジウムについて、
②分野融合連携（他学会連携）シンポジウムについて、
③国際シンポジウム開催補助について、④国際会議出席補助金について、⑤ジュニア農芸化学会について、⑥フロンティアシンポジウムについて

・学術活動強化委員会メール審議（4回）

7月3日メール審議：国際シンポジウムの選考

9月18日メール審議：第81回国際会議出席費補助金交付候補者の選考

12月4日メール審議：第52回研究奨励金、第4回女性研究者チャレンジ研究助成、第4回若手女性研究者チャレンジ研究助成の選考

1月31日メール審議：第82回国際会議出席費補助金交付候補者の選考

・学術活動強化委員会総務会（1回）

7月20日：①化学と生物シンポジウムの開催について、
②共催（分野融合連携）シンポジウムについて、③国際シンポジウムの開催補助申請について

・和文誌編集委員会（3回）

3月26日：①顔合わせ、自己紹介、②農芸化学@High School実施状況＆アンケート結果、③印刷製本費の値上げについて、④執筆者への謝礼等について

7月3日：①推薦記事の採否、②「トップランナーに聞く」進捗状況、③「農芸化学@High School」担当者の検討

12月10日：①推薦記事の採否、②書評申請の執筆採否、
③書籍紹介原稿の掲載採否

・英文誌編集委員会（1回）

3月27日：①BBB論文賞・Most Cited Award、②BBB原稿の投稿・掲載状況、③Format freeのチェック項目の変更、④BBB連携シンポジウムによるBBB特集の状況、
⑤OUP社によるPublisher's Report、⑥受賞総説依頼文の修正、⑦同時投稿への注意、⑧Minor revise時の対応

・英文誌編集総務会（1回）

1月20日：①論文賞候補の選考、②BBB Most Cited Paper (Review) Award候補の選考、③BBBの国際化、
④Minireview特集の新設検討

・産学官学術交流委員会（2回）

9月30日：①第19回国企画賞報告書の和文誌推薦について、
②2024年度さんわか活動計画案、2024年度予算執行状況、
2025年度予算計画、③2025札幌大会産学官学術交流フォーラム、④その他（第22回農芸化学研究企画賞審査の方向性について）、⑤その他（FUTURE農芸化学100寄附金の利用について）、⑥その他（夢にチャレンジ企画賞の報告書について）

12月12日：①第22回農芸化学研究企画賞の最終選考、
②第7回農芸化学中小企業産学・産官連携研究助成の最終選考、③2025年度予算案の承認について、④2025年度産

学官学術交流フォーラムについて、⑤産学官若手交流会（さんわか）活動報告、さんわか2024年度予算執行計画、2025年度予算案について、⑥その他（農芸化学会主催の「業界セミナー」開催の提案）

・広報委員会（3回）

3月25日：2025年度大会以降のトピックス演題記者会見や広報活動について

7月22日：①2025年度大会におけるトピックス賞の決定方法について、②2025年度大会の記者会見の実施方法について、③トピックス選考スケジュールについて、④「農芸化学」パンフレット（三つ折り）の改訂について、
⑤「Nature誌（シュプリングネイチャー・ジャパン社）」での農芸化学特集掲載提案について

12月2日：①2025年度大会の記者会見の実施方法について、②トピックス選考スケジュール（案）について、③「農芸化学」パンフレット（三つ折り）の改訂について

・広報SNSワーキンググループ（1回）

2月20日：2025年度大会でのSNS WGの活動について

・JABEE対応委員会（1回）

3月27日：①2024年度農芸化学会JABEE対応委員会の活動方針について、②JABEE審査員の選任について

・ダイバーシティ推進委員会（1回）

3月27日：①女子中高生夏の学校2024への参加、②2024年度男女参画シンポジウムの開催検討、③支部例会等でのダイバーシティ関連イベントの開催対応、④男女共同参画学協会連絡会関係対応、⑤その他

・農芸化学女性研究者賞等授賞選考委員会（1回）

11月26日：①農芸化学女性研究者賞・農芸化学若手女性研究者賞・農芸化学女性企業研究者賞の選考

・創立100周年記念誌編集分科会第二部（2回）

4月25日：①これまでの経緯の説明、②第二部コンテンツの内容について、③第二部コンテンツの制作体制について
10月23日：創立100周年記念誌Webコンテンツ制作業者について、及び今後の進め方

・大会実行委員会（4回）

【会員の状況】

2024年度（2025年2月28日現在）の会員数は次のとおりである。

	2024年度	2023年度	増減
名 誉 会 員	15	15	0
有 功 会 員	200	204	-4
シニア会員	185	193	-8
一 般 会 員	6,062	6,103	-41
教 育 会 員	85	90	-5
学 生 会 員	2,367	2,152	215
ジ ュ ニ ア 会 員	12	15	-3
国 外 会 員	29	11	18
団 体 会 員	220	223	-3
贊 助 会 員	88	90	-2
(口数)	(173)	(176)	(-3)
合計	9,263	9,096	167

(2025年2月末現在)

会員種別	名誉	有功	シニア	一般	教育	学生	ジュニア	国外	団体	賛助 (口数)	小計
前年2月末	15	204	193	6,103	90	2,152	15	11	223	90 (176)	9,096
北海道支部	0	13	4	233	2	124	0	0	6	2 (2)	384
東北支部	0	10	8	361	8	215	3	0	14	0 (0)	619
関東支部	9	87	83	2,506	31	978	6	0	108	55 (118)	3,863
中部支部	3	9	22	763	11	330	3	0	27	10 (19)	1,178
関西支部	3	45	40	1,193	13	403	0	0	35	14 (27)	1,746
中四国支部	0	17	9	570	10	180	0	0	20	5 (5)	811
西日本支部	0	19	19	422	10	135	0	0	10	2 (2)	617
国外外	0	0	0	14	0	2	0	29	0	0	45
合 計	15	200	185	6,062	85	2,367	12	29	220	88 (173)	9,263
増 減	0	-4	-8	-41	-5	215	-3	18	-3	-2 (-3)	167
入会	0	0	0	339	1	998	4	21	3	0 (0)	1,366
復会	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2
会員種別変更	1	9	7	521	-1	-529	-6	-2	—	—	—
休会	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退会	—	-3	-12	-342	-1	-204	-1	0	-5	-2 (-3)	-570
会費未納退会	—	—	0	-139	0	-41	0	0	-1	0 (0)	-181
会費滞納による会員資格停止	—	—	0	-415	-4	-8	0	-1	0	0	-428
逝去	-1	-10	-3	-7	0	-1	0	0	—	—	-22
口数変更	—	—	—	—	—	—	—	—	0 (0)	—	—
合 計	0	-4	-8	-41	-5	215	-3	18	-3	-2 (-3)	167

新規入会者の入会年度内訳

会員種別	名誉	有功	シニア	一般	教育	学生	ジュニア	国外	団体	賛助	小計
2024年度入会	0	0	0	81	0	162	4	0	2	0	249
2025年度入会	0	0	0	258	1	836	0	21	1	0	1,117
計	0	0	0	339	1	998	4	21	3	0	1,366